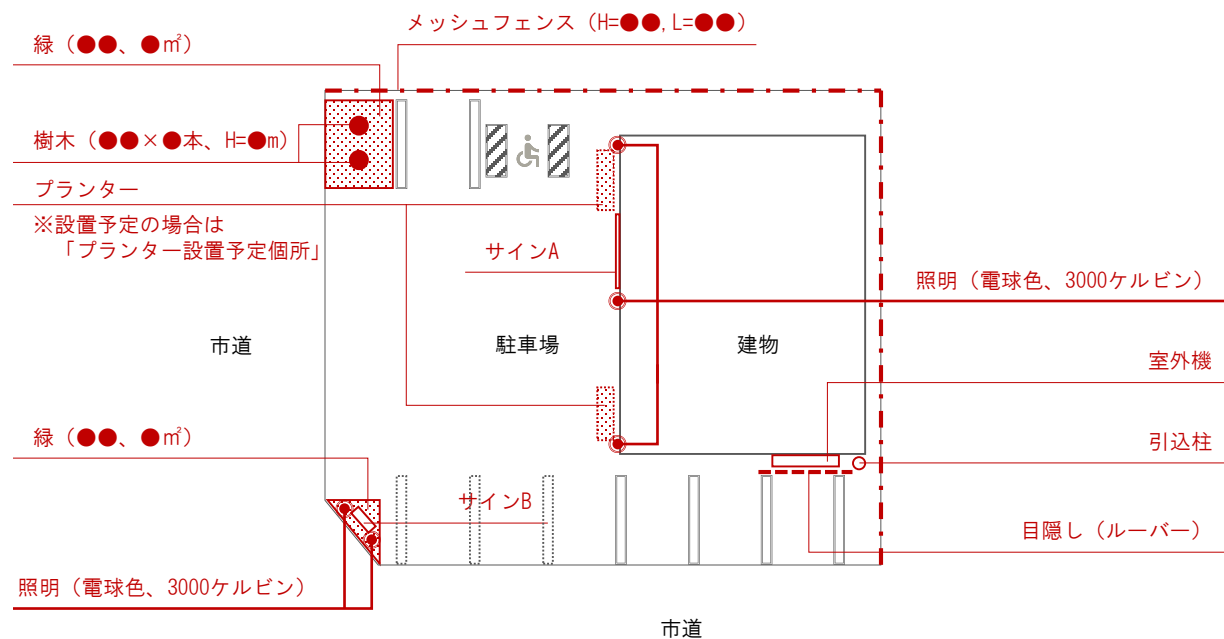


- ・サイン等屋外広告物：設置個所を記載してください。未定の場合は、後日図面の追加提出を前提として、想定位置を記載してください。
- ・植栽等の緑：設置する場合は緑被率の算定結果も記載してください。設置しない場合はプランター等将来設置予定位置を記載してください。
- ・付帯設備・工作物：周辺道路から見えるのか、見えるがルーバー等で隠すのか、見える場合は色＝マンセル値を記載してください。
- ・照明：何色か（電球色or昼白色等）、何ケルビンかを記載してください。・・・推奨は電球色3,000ケルビン程度

→ N


$$\begin{aligned} \text{・ 緑被率(\%)} &= \frac{\text{緑被率面積(m}^2\text{)}}{\text{敷地面積(m}^2\text{)} \times (1 - \text{建ぺい率})} \times 100 \\ &= \frac{\bullet \text{ (m}^2\text{)}}{\bullet \text{ (m}^2\text{)} \times (1 - \bullet)} \times 100 = \bullet \bullet \% \end{aligned}$$

Technical drawing of a rectangular structure, likely a gate or fence, with dimensions and labels.

Dimensions:

- Width: 2,000
- Height: 42,000
- Internal width: 970
- Internal height: 1,000

Labels:

- ワイヤメッシュ (ハイテンション線) - Wire mesh (High tension line)
- 基礎コンクリート 4,500 x 41.6 - Foundation concrete 4,500 x 41.6
- 土留壁土壌 - Soil retaining wall soil
- 220
- 増設高 200

A diagram showing a vertical bar chart. A dashed line extends from the top of the bar to the right, where it meets a horizontal line. Below the bar, there are three red circles and a red triangle pointing downwards.

【景観事前協議関係】
立面図に記載いただきたい事項

■既存の立面図に次の事項を記載願います。 ※記載例の赤色の箇所は、黒色としていただいてもかまいません。

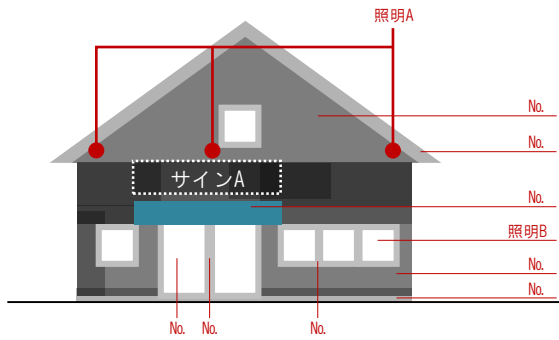
- ・各部材：材料の種別、色＝マンセル値を記載してください（※）。
- ・照明：何色か（電球色or昼白色等）、何ケルビンかを記載してください。・・・推奨は電球色3,000ケルビン程度です。
- ・サイン等屋外広告物：材料の種別、色＝マンセル値を記載してください（※）。内照式の場合は何ケルビンかを記載してください。

※図のように付番して凡例表示しても良いです。また、1枚に収めることが困難な場合は、複数枚になってもかまいません。

記載例

※着色願います
(近似色でもかまいません)

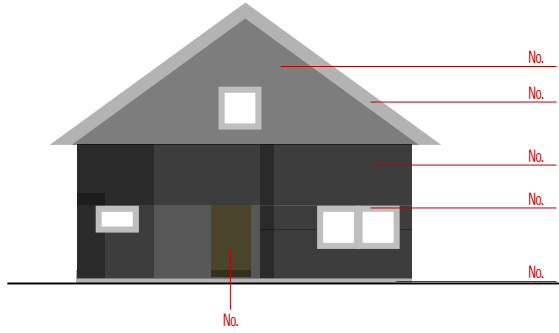
南側立面図



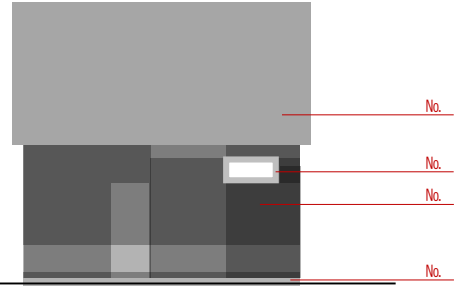
東側立面図



北側立面図

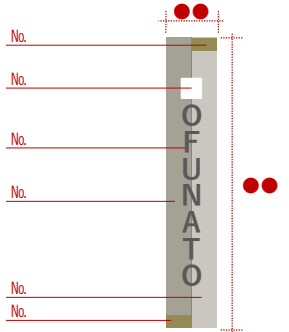


西側立面図



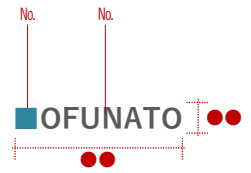
・表示面積：A・Bとも20㎡以下/箇所、
A＝壁面面積の1.5/10以下

【サインB】



【サインA】

切文字



No	規格	マンセル値
照明 A	屋外：電球色／3000ケルビン	—
照明 B	屋内：電球色／3000ケルビン	—

No	規格	マンセル値
①	外壁：●●	●● ●/●
②	笠木：●●	●● ●/●
③	扉：●●	●● ●/●
④	建具・窓枠：●●	●● ●/●
⑤	幅木・立上り：コンクリート打ち放し補修	コンクリート色
⑥	縦樋：SUS製	●● ●/●
⑦	窓格子：●●	●● ●/●
⑧	排気ダクト：●●	●● ●/●
		2

景観チェックリスト
※建築物・工作物等

記載例

景観チェックリスト

建築行為等の対象			チェック項目	該当する□に✓を記入してください		その他工夫した点を記載してください
				適合	非適合	
境界空間の景観づくり	建築物・工作物・外構	建築物	立面図を着色し、マンセル値を記入した	✓		①周辺の景観や街並みとの調和 ②建築物と工作物との調和 ③外壁・屋根の素材、意匠(サイン含む) ④壁面後退、付帯施設の目隠し ⑤植栽の配置 ・生垣とした場合、適切に管理することができないおそれがあるため、透視可能なフェンスで植栽により美観に配慮したものとした。 ⑥照明の色温度、色あい ⑦その他 ・敷地面積が狭いため、緑化率10%以上にはならなかったが、植栽を道路に面する部分に配置し、美観に配慮したものとした。
			外壁に推奨色を使用した	✓		
			屋根に推奨色を使用した	✓		
			蛍光色は使用していない	✓		
		工作物	立面図を着色し、マンセル値を記入した	✓		
			推奨色を使用した	✓		
			蛍光色は使用していない	✓		
		垣・さく	生垣とした		✓	
			透視可能なフェンスで植栽により美観に配慮したものとした	✓		
		その他	緑化率は10%以上とした		✓	
			植栽を道路に面する部分に配置した	✓		

3

■大船渡駅周辺地区景観づくりガイドライン（以下「ガイドライン」）を踏まえて、次のとおり作成願います。
・基準に適合したか否か：該当する□に✓を記入してください。また、やむを得ず「非適合」となる場合は、「その他工夫した点・・・」欄に理由を記入願います。
・工夫した点：「その他工夫した点・・・」欄に可能な範囲で記入願います。

記載例

景観チェックリスト

建築行為等の対象			チェック項目		該当する□に✓を記入してください		その他工夫した点を記載してください
					適合	非適合	
境界空間の景観づくり	屋外広告物	共通	立面図を着色し、マンセル値を記入した		✓		①周辺の景観や街並みとの調和 ・使用色については、企業戦略上、弊社統一の基準を優先したため、一部推奨色ではない色を使用した。 ・また、背景盤面の使用及び切文字としていない理由も同様。 ②建築物と工作物との調和 ③照明の色温度、色あい ・屋内照明については、商品陳列部の照明が消費者の購買意思決定に影響を及ぼすものと捉えているため、推奨色（電球色）ではなく、屋白色とした。 ④その他
			推奨色を使用した			✓	
			棟屋サインは設置していない		✓		
			表示面積は敷地面積の1000分の5以下とした		✓		
			点滅式のものや動く光源は使用していない		✓		
		音による 公告装置	スピーカーを屋外に向けて設置していない		✓		
		そで看板 (フラッグ 含む)	上端は宅地地盤面からの高さを10m以下とした		✓		
			下端は宅地地盤面からの高さを2.5m以上とした		✓		
			突出幅は1m以下とした		✓		
		建築物 壁面看板	宅地地盤面より高さ10m以下の箇所	背景盤面は使用せず切文字とした		✓	
				1箇所あたりの表示面積は20㎡以下とした	✓		
				表示面積の合計は当該壁面面積の10分の1.5以下とした	✓		
				窓面に設置していない	✓		
			宅地地盤面より高さ10mを超える箇所	背景盤面は使用せず切文字とした	該当無		
				1箇所あたりの表示面積は50㎡以下とした	//		
				表示面積の合計は当該壁面面積の10分の1.5以下とした	//		
				窓面に設置していない	//		
				建築物1棟あたりの表示内容は1種類で、設置数は2箇所以内とした	//		
		立看板 (可動式)	1面あたりの表示面積は1㎡以下で、1店舗あたり1箇所とした		✓		
		広告塔・ 広告板	1箇所あたりの表示面積は20㎡以下とした		✓		
			上端は宅地地盤面からの高さを10m以下とした		✓		